



令和2年7月25日

関東独自大会における新型コロナウイルス感染症に対する予防対策について

関東地区大学準硬式野球連盟

1. 基本方針

選手並びに大会関係者の健康を最優先として、下記の通り新型コロナウイルス感染の予防策を徹底することとする。

2. 特別大会開催における前提

①試合は健康が確認された選手だけが出場できる

試合前メンバー表交換時に、両チームはチーム代表者による健康チェックリスト2部を持参し、1部を本部へ提出、1部を相手チームと交換して確認する。

チーム代表者は試合前に各選手の健康状態を確認し、健康不安者を出場させてはならない。

健康が確認されていない場合の例

- ・発熱、咳、倦怠感などの症状がある者および味覚嗅覚を感じない者。
- ・大会開催日前の14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者。
- ・大会開催日前の14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。

②新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」を利用すること

このアプリを7月中にインストールし、試合実施時には2週間以上の接触有無が確認できる状態にしておくこと。

また、その確認は健康チェックリストによって行う。

③感染者が発生した場合は大学と関東連盟に報告をすること

大会前および大会期間中にチーム内において感染者が出た場合は、状況を判断し、当該チームの出場停止および大会を中止とする可能性がある。

また、大会参加者に感染が判明した場合は、参加者名簿を関係機関に公表する可能性があることを周知する。万が一、感染者が発生したとしても、その者を誹謗中傷したり、非難したりすることが絶対に無いように配慮すること。

④原則として無観客試合とする

例外的にチーム関係者の観戦は認めるが、健康不安者の参加は禁止とする。

また、観客席が「密」にならないように一定の距離を保って観戦し、マスク着用の上、大声の代わりに、拍手で応援をすること。

3. 予防策

【活動前後】

- ・いわゆる3密にならないように工夫すること。
- ・手洗い、うがい、アルコール消毒、マスク着用などの咳エチケットの励行。
- ・目・鼻・口を極力触らない。
- ・公共交通機関を利用する移動の場合、必ずマスクを着用し、つり革などによる接触感染に十分気をつけること。また、小人数での行動を取り、極力会話を避けること。
- ・ロッカー・シャワールームなどを利用する場合は、こまめな換気を行い、1回に利用する人数を10名程度までにすること。

【試合中】

- ・試合前の整列は、監督またはキャプテン同士の挨拶とし、両チームが整列することを省く。
- ・試合中、出場しているメンバー以外はマスクを着用すること。ただし、熱中症予防に配慮すること。
- ・ベンチ内では一定間隔を保ち、大きな声は出さないこと。
- ・マウンド上で集まるときは、グラブを口に当てること。
- ・タオル、ペットボトル、コップ等の共有は避けること。
- ・試合当日、各チームで消毒液の用意をすること。
- ・チーム道具で共有せざるを得ない物は、各チームで消毒を徹底すること。
- ・肌が触れ合うハイタッチ・握手などの接触は避けること。
- ・ミーティングはフィジカルディスタンスを保ち、原則屋外で手短に行うこと。

関東準硬式野球連盟は、感染予防および拡散防止のために最大限の努力をし、関東特別大会に向けて準備を進めてまいります。